



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくら内  
TEL&FAX:0744-43-7773  
URL: <http://lets.some.jp>  
E-mail: [lets@some.jp](mailto:lets@some.jp)

令和4年7月

# うるわし通信

## うるわしの桜井をつくる会 第12回定時総会

長引くコロナ禍、ロシアの軍事侵攻、インフレなどに加え衝撃的な元首相暗殺事件が奈良で起こるなど、誰も予期しなかったまさに国難ともいべき事態が続いていますが、私たちも気を引き締めて力をあわせ、乗り切っていかなければならない時かと思えます。

会員各位のご尽力のおかげで、うるわしの桜井をつくる会も創設以来さまざまな事業に取り組み成果を上げて12年目を迎えました。

コロナの第6波が一応の安定を見せた機会を捉え、去る6月19日に久しぶりに会員総会を開き、懸案の定款の改訂と新役員の選任の決議をしていただきました。

これまでご尽力いただいていた役員で重任となった方13人と、新役員5人が選任され、監事のうち1人が交代となりました。また新たに特別顧問・顧問の制度を設けました。



そして総会後の理事会を書面で開催し、新しい組織体制が決まりました。

これから新体制のもと新しい事業などを鋭意展開して行けるものと期待しております。

任期満了となったアドバイザーや顧問、理事の5人の方々には、これまでのご指導やご貢献に厚く感謝申し上げますと共に、今後ともなにかとご指導、ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

総会の後 公開講演会で聖林寺の倉本住職に、聖林寺の歴史や、今回改修される国宝十一面観音像の新観音堂についてお話を伺いました。

かつてフェノロサが絶賛した仏教美術の傑作がこの地に存在することは桜井の大きな誇りであります。桜井は国のはじまりの地、日本人のふるさとです。

今後とも住んで良し、住みたくなる街桜井をつくるため各位のご支援を心よりお願い申し上げます。

理事長 掘井良殷



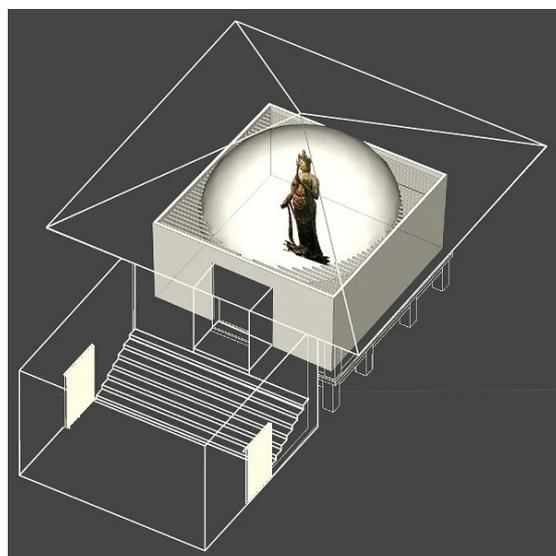
## うるわしの桜井をつくる会 公開講演会

総会后、聖林寺ご住職倉本明佳氏による『国宝聖林寺十一面観音 三輪山信仰のみほとけ』と題して講演会を開催しました。参加者は54名、御所市や明日香村からも参加いただきました。



聖林寺は奈良時代に談山妙楽寺(現在の談山神社)の別院として藤原鎌足の長子定慧(じょうえ)によって創建され、享保年間に女人泰産を願いご本尊の子安延命地蔵が建立された歴史話をはじめ、数々の仏像や秘仏と曼荼羅など寺宝の説明があり、現在、聖林寺に安置されている国宝十一面観音立像は、もともと大神神社の神宮寺「大御輪寺」のご本尊だったが、明治政府による神仏分離令が発せられ廃仏毀釈から逃れるため、当時の住職大心上人によって聖林寺に移されたといわれている。

その十一面観音立像が東京国立博物館で開かれる特別展「国宝 聖林寺十一面観音—三輪山信仰のみほとけ〜」に出展のため、お堂の中で解体されることになり滅多に見られない仏像搬出作業の映像が紹介されると、会場の皆さんは驚きと感動が入り混じった面持ちで、スクリーンを見つめていました。クレーンで像が台座から離され横に寝た状態にされると、足裏が見え奈良時代の金箔が令和に蘇ったのです。十一面観音が安置される新観音堂の改修工事はほぼ完了していて、8月1日からは360度ぐるりと拝見できるようになる。



収蔵庫のイメージ図(聖林寺提供)

「参加者アンケート」抜粋

- 十一面観音様は何度も拝見させていただいていますが、この様に映像にしてお話し頂くとなお一層素晴らしさが良く分かりました。
  - これからも聖林寺様を応援したくなりました。新しいお堂もとても楽しみです。
  - 近くにおりながら、知らない事ばかりで、興味深々で聞きました、8月からの拝観をたのしみにはしています。
  - 神社や仏教に興味がありますので、それに関する関係者の方の講演会を希望します。
- \*新型コロナウイルス感染症対策を会場にて行いましたので、一部の方はテーブルに着座できず、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。うるわしの桜井をつくる会事務局

## うるわしの桜井をつくる会 令和4年度役員

常任理事会		監事
理事長	堀井 良殷	島崎 章
副理事長	岡本 健	高瀬 安男
事務局	専務理事	東 俊克
	会計	船谷 晴夫
	事務局理事	新 元秀
石井 智子	栄嶋 まゆみ	楠木 克弘
河村 喜太郎	佐藤 高静	小野田 和子
中尾 七隆	中村 正徳	島岡 将
吉田 忠雄	和田 恵治	丸子 孝仁
		(敬称略)

特別顧問・顧問は委嘱手続きののち次号でお知らせします。

## うるわしの桜井をつくる会 新理事紹介

総会において以下の新理事が選任されました。(敬称略)

### 新 元秀



現在、大和信用金庫に勤務しています。微力ながらこれまでお世話になった桜井への恩返しのつもりで務めます、よろしくお願ひします。

### 石井 智子



桜井に来て6年目に入りました。ますます良い所だなあ、という思いを強くしています。桜井のために何かお役にたてれば、うれしく存じます、よろしくお願ひします。

### 楠木 克弘



これまで6年間(2016.7.1～)うるわし通信の編集子として参画してきましたが、新理事就任を機に、より多様性のある活動や意見を反映できるように取り組みたいと思います。

### 佐藤 高静



平成18年4月に地元桜井鎮座「等彌神社」の宮司として郷里に帰って参りました。神職の立場から何か貢献出来れば幸いです。

中村 正徳 (大和信用金庫)

”長い間 多大のご貢献有り難うございました”(敬称略)

アドバイザー 伊藤 忠通・三井田 康記 顧問 長谷川 明・柳田 弘明 理事 林 三起子  
永年ご支援とご指導をいただきましたこと誠に有難く、厚く御礼申し上げます。

## うるわしの桜井をつくる会 令和4年度事業計画

総会において通年事業に加え以下の事業計画が承認されました。

### ① 桜井市観光基本計画についての学習会

令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とする、第2期桜井市観光基本計画が策定され、目指すべき将来像を「自然につつまれ、神を感じて、御仏に会える癒しの里”桜井”」と設定しています。本紙91号で述べたように、計画作成後それを推進する取組みと市民参加をもっと高めていくために、学習会開催を行います。日程は後日連絡させていただきます。

### ② 人口問題・地域課題研究会の発足

桜井市にとって人口減少・少子高齢化は大きな問題で、特に市中央部と中山間地域での人口減少には大きな格差が生じている。実際に地域で生活されている方々と、桜井で起こっている地域問題について議論する機会を創設します。研究会員を募集します、事務局に連絡をお願いいたします。

## 桜井図書館友の会

### 2022年度桜井図書館友の会総会

日時：2022年7月26日(火)14：00～ 会場：市民活動交流拠点会議室

講演会 「吉野まちじゅう図書館の取組み」（総会終了後）

講師 八鈞 直己さん

図書館のない吉野町で、住民が所有するものも含め、まちじゅうの本を共有する、『吉野まちじゅう図書館プロジェクト』のお話しです。



### 【編集後記】

7月に入り県内各地で「差別をなくす強調月間」の取組みが進められている。そして今年、部落差別の撤廃に向けた自主的解放運動である全国水平社が創立されて100周年を迎える節目の記念作品として、7月8日より映画『破戒』が全国上映されている。ご存知のように島崎藤村の有名な小説で、明治末期の信州を舞台にした被差別部落出身の教師の生きざまを描いたもので、発刊以来さまざまな評価をされてきた。今回の映画化は、時代的制約のある小説を取り上げる中で、今日的な部落差別の解決をどのように考えるのか、一度見られることをお勧めしたい。(楠)

うるわし通信発行人  
ひがし俊克  
TEL:090-3652-8104